

広丘

塩尻市総合体育館完成 ～広丘地区の新しい風景～



広丘を代表する歌人の歌

手鏡の一つすら持たぬあけくれの
いく月かすぎ髪白くなりぬ

若山貴志子

広丘公民館の最新情報は
Facebookページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/hirookakouminkan>



写真提供：塩尻市

松風



待ちこがれた予防接種

新年度になれば、コロナ禍騒ぎも落ちつくかと期待していたが、そうたやすいことではなかった。再び世界的にじわじわと患者が増加、変異株とやらも増え、より感染力が強まるばかりで治まる気配はない。世界的大流行の状況は続く。

五月初旬までは、塩尻ではほとんど患者が出ず、この状態で治まってくれたらと期待していたが、突然、十数人もの感染者が出たとのニュースが塩尻市内を駆け巡った。現金なもので、地元のこととなると、平静でいられない緊迫感に襲われる。目に見えないウイルス相手だけに、恐怖心がより駆り立てられる。

そんな中、遅ればせながら予防接種がようやく動き始めた。高齢者対象の接種が五月末から始まる。塩尻市では、八十歳以上の高齢者から順次実施、六月に入って七十五以上、次いで七十以上と、順次進める計画という。早速私も娘の手を借り、パソコンで予約を済ませ、ちよつと一息ついている。

それにしてもこの予防接種、もう少し早く手が打てなかったものかとの思いが胸の内に沸く。コロナ騒動が始まって、早一年半、こんな窮屈な暮らしから、もう解放されたいと願うばかりだ。

(T・M)

新年度あいさつ



広丘公民館長
三村 尚志

この度、前三澤深館長の後を受けました堅石の三村です。宜しくお願い申し上げます。

本年は、例年になく桜の開花が全国的に早く当地に於いても、小中学校入学式には満開となりました。五月を待たずに深緑の時期となり、さわやかな季節がやってきました。

入学式が過ぎ、真新しいランドセルを背負ったピカピカの一年生はすぐに目に飛びこんで来ます。行きは上級生に囲まれてついていくのに、おそらくは精一杯であろう。堅石からは2キロ超の道のりは今も変らない。心配そうに見送る母親が見えなくなるまでずっと見守る風景はやはり変わらない。

昨年は入学式後すぐに休校、今年は何とか通学ができています。が相変らずコロナ禍で厳しい状況下です。

四月ははじめ前原新田区长角吉松氏より「原新田区誌」がよう

やく出来上がり、広丘公民館へ寄贈しましたとお話しをいただいた。誠にありがたく頂戴したところ です。

手に取ってみると「ずしっと」と重い。編纂に係った方々のその重みであろう。四編からなる区誌を少しずつ読みはじめた今日この頃です。

さて、旧広丘村の各区での区誌の取り組みを探ってみました。高出区は区誌名を「たかいで」とし、昭和五十九年～平成十一年の十五年間の歳月を擁している。また、平成二十六年

には「高出地区・分区十年のあゆみ」を一年で作り上げた。

野村区は「野村区誌」の名称で昭和六十一年～平成八年の十一年間の月日をかけている。

吉田区は「吉田区誌」とし、平成十一年～二十年まで十年間、郷原区は「郷原宿開設四〇〇年記念誌」として、区誌に十二分対応する「誌」を平成二十一年～二十六年の六年間で作り上げている。

そして、「原新田区誌」は平成二十五年～令和三年の八年間です。

各区とも、十年前後の歳月を費やし、郷土の成り立ちを振り

返り、次代へのステップを見い出そうとしている姿に拍手を送るとともに、心血を注いだ多くの方々への熱き思いに感銘を受けた次第です。

ところで、私の地元堅石はどうであろうか。平成十二年度区総会に於いて、年配者から「区内の馬頭観音を含めた路傍の石造物を大切に保存して欲しい」

旨の意見が出されました。同年から石造物祈念祭が毎年十二月に開催され、併せて地域の講師を迎え、堅石の歴史を講義いただいてきました。その聴講者から堅石にも「区誌」の意見が出され、この四月「区誌編纂準備会」

が立ち上がった。乞うご期待です。旧広丘の各区誌は、活力ある地域づくりのカンフル剤である

と思うのは私だけではないでしょう。

今年こそ、コロナ終息の年であるよう祈りつつ公民館事業の推進をしてまいりたい。

石段を

登りつめると鶯の声

山の御堂は

初夏を迎える



広丘公民館副館長
飯田 哲司

この四月から広丘支所・広丘公民館にお世話になっていきます。

公民館というと一部の人たちが活動している場所と想像していましたが、広丘公民館は「えんてらす」という複合施設の中に入っているせいか、利用している人達がとても明るく、生き生きとした様子で活動しているように感じます。

「えんてらす」は子どもから大人まで幅広い世代の人たちに利用していただいている施設です。

昨年からのコロナ禍において、出会いや交流が制限されていますが、安全対策も講じながら公民館活動を開催していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

広丘の

新たな地での働きを

えんてらす見て

気持ち高ぶる

令和3年度 各分館長・主事の紹介

原新田分館

雪形の消えし鉢伏仰ぎつつ
コロナの終息ひたすらに待つ



原新田分館長
竹沢 誠

この度、原新田分館長を拝命しました竹沢です。転勤で地元を離れた時期もありましたが、

戻って二十年位になります。昨年度は、コロナウイルスの影響で、ほとんどの公民館活動ができなかったとのことですが、今年度は、コロナウイルスの終息が見通せない状況下で「中止ありき」ではなく、何が出来たのか、どうすれば出来るのかを考え、皆で知恵を出し合い、協力を頂きながら本来の公民館活動が出来ますよう、もとより微力ではありますが頑張りたいと思います。二年間、宜しくお願いいたします。

散る花が 種を残していくように
私に何が残せるか



原新田分館主事
宮田 幸恵

コロナ禍での任期二年目を迎えました。「決して歩みを止めてはいけないよ」「頑張れ」と地域の諸先輩に背中を押され、勇気づけられる毎日です。未知のウイルスの恐怖に煽られるばかりではなく、得た情報を噛み砕き、分析しながら今年も確実に歩を進めていく覚悟でおります。この未曾有の経験が無駄にしないよう、日々新しい情報をキャッチするアンテナを張り続けたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

堅石分館

桜咲き子や孫たちに希望あれ
輝く故郷我らの街に



堅石分館長
百瀬 良夫

令和3年度堅石公民館長に任命されました、15常会の百瀬でございます。広丘公民館では教養部を担当いたしますが、広丘で生まれ、広丘で育った私ですが、子や孫達が育つ故郷が希望に満ちた町となる様、微力ですが皆様のお役にたてる様、皆様のご協力を頂き活動したいと思っております。また世界的なコロナ禍の中、活動には色々な制限が発生すると思いますが、よろしくお願いいたします。

表情を マスクの下に 隠し続け
外したときに やっと思い出す



堅石分館主事
平林 克修

本年度より堅石分館主事を務めさせて頂きます。昨年度より引き続き異例づくめの公民館事業となる事が予想されますが、その中でも自分のできることをやっていきたいと思っております。昨年度は別の形で公民館事業に携わりましたが、たくさんの方が関わり、目的に向かって動き、活動が形になっていくことを実感しました。幼少より慣れ親しんだこの広丘に少しでも貢献することできれば、それはとても嬉しいことです。

郷原分館

コロナ禍で 何が良いやら 悪いやら
明日はどうなる 春盛り



郷原分館長
塚原 克浩

冒頭に広丘地区の皆様、新型コロナウィルス特別レポート(感染警戒レベル4)の中で感染にご健康であることをご祈っております。今年から広丘公民館郷原分館長(館報編集委員長)を拝命しました。塚原克浩でございます。コロナ禍ではあります。新しいことに挑戦していくのは大役で不安もありませんし、楽しみな部分もあります。そして新たな人との出会いの中で得られるものもあると思えます。公民館報は人との接触を最小限に避けたい中、もつながりを持つ手段でもあります。嫌々ならやるのではなく、楽しみながら進めてまいりたいと考えています。

館報を通じて広丘にお住まいの方々には、将来が明るく見える推進ができれば幸いです。皆様のお力をお借りして進めてまいります。皆様のご健康を祈ります。

花芽吹き 木々が目覚める 卯月の夜、
明日も霜かと 気は休まらず



郷原分館主事
小林 哲雄

皆様初めまして。今年度より、広丘公民館教養部および郷原分館主事を拝命いたしました。生まれも育ちも広丘で、サラリーマン退職後は郷原の果樹農家を営んでおります。私の行動指針は「結果とは、行動した人のもの」です。何よりも動かないことには、良いも悪いも反省も無いのです。難しいご時世となりますが、少しでも自分で動いた結果を残すべく、行動して参ります。

野村分館

新しい 出会い見つける えんてらす
明るく集う 地域の行事



野村分館長
石坂 恵二

野村公民館館長として2年目を迎えました。スポーツが大好きな私にとつて、今年は大リーグの二刀流

大谷選手やオリンピック代表競泳の池江選手、ゴルフマスターズ初制覇の松山選手、彼らの活躍は驚きと勇気を与えてくれました。今年もコロナ禍ではありますが、広丘公民館においても、こんな時だからこそ、元気を出して大好きな事に夢中になって、楽しい事を探して、新しい事に勇気をもって挑戦し活動して行くのではありませんか！令和3年度もそれぞれの公民館で、また、新たな発見と出会いが生まれる事でしょう。

梨の花 霜には勝てず 枯れ落ちて
来年こそは 豊作であれ



野村分館主事
三村 紀景

本年度より二年間野村分館主事を務めさせて頂き、広丘公民館では青少年育成部を担当いたします。育成部の活動としては子どもと触れ合うことが多く、役員の中では若い方なので積極的に話しかけ、溶け込みたいと思います。他地区の皆さんと触れ合う事も少ないので、多くの人達と会える事を楽しみにしています。始まったばかりで分からない事ばかりですが、二年間で多くの事を学びたいと思います。

令和3年度

広丘公民館事業計画

地域の皆様が公民館で「集う」「学ぶ」「つながる」ことを目標に
公民館事業を実施してまいります。

教養部

講座名等	内容
平和学習会	終戦80年に向け 戦争体験の学習会・満蒙開拓平和記念館見学
人権学習会	分館における人権学習会の支援
文芸サロン	講演会や音楽演奏などで 学びと憩いのひとときを
広丘学びのカフェ	「エゴマ栽培」 コミュニティ・スクールの一環で広陵中学校の生徒も参加
自然観察会	地域を巡る自然観察 広丘まちかど観望会で身近な場所で天体観測
第41回囲碁将棋大会	吉田公民館と共催で 囲碁と将棋大会を開催（大人の部、子どもの部）

文化部

講座名等	内容
第21回広丘音楽祭	11月6日（土） 広丘小学校体育館を会場に広丘地区文化サークルと小中学校合唱部・吹奏楽部の出演
広丘地区文化祭	11月7日（日） えんてらすを会場に 広丘地区文化サークルと小中学校・児童館の作品展示 サークル体験活動会など 広丘地区の文化の祭典

青少年育成部

講座名等	内容
ものづくり体験教室	子どもたちにもものづくりの楽しさを教えてもらう工作教室
煎茶教室	小学生をはじめ 大人も子どもも煎茶道を親しむ
広っ子宿題お助け隊	夏休みに公民館会議室で宿題をする場を提供 助っ人によるアドバイスも
夏休み子ども体験講座	図鑑図書館公民館 丘中科学部との連携講座で子どもたちの学びの機会を
広丘子育て広場	未就園児の親子を対象に クリスマス会を楽しむ

館報編集委員会

	内容
公民館報「広丘」の発行	広丘地区の公民館活動等の情報発信 年3回発行

新型コロナウイルス対策で、中止や延期される場合があります。

北部子育て支援センター

えんてらすの北部子育て支援センターも3年目に入り、多くの方が遊びに来ています。コロナ禍であっても『振り向けばそこに支援センター』をモットーに、お子さんや保護者の皆様の気持ちに寄り添った支援を心がけています。隣の「安心サポートルーム」では、保健師がお母さんの妊娠期から、お子さんの発育、発達についての相談を受けています。

開館時間：午前9時から11時まで
午後1時から3時まで
(現在、新型コロナウイルス感染対策で館内の消毒を徹底するため、時間を短縮して開館しています)

行事・講座 など

北部子育て支援センターで開催している行事や講座の一部をご紹介します。

下記の3つの講座は申し込み不要です。お気軽にお越しください。

【こみおばちゃんのわらべうた】 昔から伝承されている、わらべうたやふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを、毎月1回行っています。どこか懐かしく心地よいひとときを、親子で楽しんでみませんか？

【おはなし玉手箱】 スタッフによるお楽しみ会です（毎月1回）。季節や行事にまつわる内容を取り入れて工夫しています。今月はどんな内容かな？

【パパッとタイム】 パパの来館が多い日や時間帯に、「パパッと」とできる簡単な遊びを保育士が提案します。いつ、どんなことをやるかは参加してのお楽しみ！どなたでも参加できます。



広丘 輝き人

— 塩尻市立丘中学校 科学部天文班 —



天文班の皆さん(1年生3名、2年生7名、3年生4名)
塩尻市立丘中学校(広丘野村)

はじめに

丘中学校では2012年に見られた金環日食の「輪の形」の観測を全校生徒で行い、結果を科学部員が解析。通学区内を通過していた「北限界線」の位置を正確に求める、という大きな成果を上げました。

以後現在まで、「棒の影」を使い、太陽が真南の空を通過する時の高度の観測を続けてきました。観測装置は、江戸時代に幕府天文方が暦づくりのために使っていた「圭表儀(けいひょうぎ)」を自作したもので、改良を加えながら現在まで8年間観測を続け、その研究成果を、日本天文学会ジュニアセッションで毎年発表しています。

天文班は、2017年に会津藩校日新館(福島県会津若松市)で使われていた江戸時代の圭表儀を復元するためのイベントに招かれて講演し、国立天文台副台長の渡部潤一教授から高く評価されました。さらに昨年末、第64回日本学生科学賞への上位入賞を果たしました。

科学部部長の市川朔豊(さくと)さん(3年)に、科学部天文班の活動についてお聞きしました。

【活動内容】

「圭表儀」という観測器具を使用して、8年間、太陽の南中高度を観測しています。圭表儀は江戸時代に使用されていたもので、当時は暦づくりに使用されてきました。また江戸時代の「寛政暦書」には、圭表儀についての記述があり、その漢文を現代語訳し、記述されていた補助器具を製作しました。昨年賞をいただいたきっかけとなった「景筐」も、こうした研究のもと復元したものです。現在は、景筐をより当時の姿に近づけるための改良や、景筐の表面に貼られていた「青紙」の製作(より像が見やすいものにするため、青紙を使っていたことがわかってきた)を行っています。

【特に力を入れてきたことは?】

2019年から、先に述べた「景筐」の研究に力を入れています。2012年に景筐についての記述された論文が発表されていましたが、この論文で述べられていたことは私たちの考える景筐の役割とは異なっていました。実際に当時どのように使われていたのかを調べるため、「寛政暦書」を現代語訳しました。それをもとに景筐と、同じく観



測に使用された景符を復元しました。その中で、論文の記述は誤りで、私たちの考えが正しいことが明らかになりました。

【科学部の魅力は?】

科学部には、天文班だけでなく生物班、水溶液班、結晶班といった班があります。どの班でも1つのことを探究していくので、実験や観測の楽しさだけでなく、高度なことも知ることができます。また、取り組んでいることについての知識が増えます。一人で研究するのではないので、仲間と活動することの楽しさも学べます。

【今年度の目標は?】

製作した景符・景筐を、さらに当時の形に近づけて製作していきます。また、その他にも圭表儀に付随した道具があるので、復元して観測に使い、どのくらい精度が向上するか調べたいです。

寛政暦書には、江戸時代に行われた圭表儀の観測結果も書かれています。その数値を調べて、私たちの観測結果と比べながら、江戸時代の圭表儀による観測の精度や、暦づくりにどのように役立てられていたかを明らかにしていきたいです。

退任された 地区館長・分館長・主事

広丘公民館長	三澤 深さん
原新田分館長	川上 保寛さん
堅石分館長	百瀬 隆夫さん
郷原分館長	伊佐治正幸さん
堅石分館主事	郷原 直樹さん
郷原分館主事	中野 克洋さん
野村分館主事	塩島 匡信さん

令和3年度 館報編集委員

委員長

塚原 克浩 (郷原)

副委員長

宮田 幸恵 (原新田)

委員

武井 陽子 (原新田)

浦澤 正二 (堅石)

風間 正士 (郷原)

水野 兼治 (野村)

平林 利幸 (堅石) ※体協会長

水野 強 (原新田) ※専門委員

太田 秀保 (野村) ※専門委員

広丘支所職員 自己紹介短歌

朝起きて
緊張しつつ
仕事行き
かわす笑顔に
ホッとす
窓口担当
上條 美恵

活気ある
サークル活動に
感化され
目標立てるも
また一年
(今年こそ頑張ります)
窓口担当
藤沢 まゆ

赤子から
メンタルヘルス
感染症
公衆衛生担う
保健師
折橋 奈央



賑わいの
サークル
マルシェetc
魅力溢れる
毎日彩る
支所主任
林 明香

広丘の
新たな地での
働きを
えんてらす見て
気持ち高ぶる
支所長
飯田 哲司

久方に
訪れてみて
公民館
笑顔いっぱい
元気の源
公民館主事
百瀬 雅彦

「えんてらす」から見る景色

えんてらすマネージャー 中野実佐雄

人はどこかでつながって生きている

「人はどこかでつながって生きている」はCD「ふくしま・うた語り」の中に出てくる加藤登紀子の言葉だ。今のコロナ禍の中では、心に届くフレーズだ。人と接触する機会を奪われ、交流という言葉さえもむなしく聞こえる。私たちは、友人同士での、学校や会社内での人間関係のあり方の見直しが問われている。ワクチン接種が進めばとも思うが、これまでどおりの生活になかなか戻れないだろう。

昨年7月にえんてらすで「シトラスリボンづくり講座」を開いた。この時に講師として愛媛県のシトラスリボンプロジェクト共同代表者の甲斐さんに話をしていた。遠距離ということもあったが、コロナ禍で移動のリスクがあることから、Zoomを使用したオンライン出演であった。この時感じたのは「意外と便利だな」ということである。コロナのまん延を機にこのような講演会も増えるだろう。えんてらすは人の交流を

本分としている。その中でオンライン講演会が交流を妨げるかといえば、そうではない。講師はオンライン出演でもいいのである。地域住民が顔のわかる距離に集まる(ソーシャルディスタンスは守る)ことが重要なのだ。昨年の「えんてらすコレクシオン2020」を中止にせず開催する方法を探ってきたのはそのためだ。

えんてらすには「えんぼーど」というアイテムがある。信州大学の学生の提案なのだが、これがおもしろい。「10年後のあなたへの言葉」を求めたところ多くのメッセージが寄せられた。その中のひとつに「人と関わることは、どんな時でも大切であることには変わりない」というメッセージがあった。同感である。この方と会うことはないかもしれない。しかし、同じ気持ちを持て共有できたことの意味は大きい。コロナ禍の中であっても決して一人きりではない。そう、人はどこかでつながって生きている。

体協だより

広丘地区体育協会キャッチフレーズ
スポーツを通じ、明るく笑顔で、
健康づくりと仲間づくり

広丘地区体育協会 会長 平林利幸

広丘体協に対しまして令和3年度も引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。広丘体協も新しい理事の方々も加わり、新体制のもと始動いたしました。

振り返れば昨年は新型コロナ禍によりほとんどの事業が中止となり活動の場が失われました。今年度も専門部より事業計画が提出されましたが、第4波コロナ

の影響で計画通り進められるか気をもむところです。

1日も早い新型コロナの収束を願いつつ十分な予防対策を講じながら今年度の事業が進められる事を願うだけであります。

今後とも御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

広丘地区体育協会 副会長 小野 宏 (NPO 塩尻市体育協会担当)

塩尻市体育協会理事の立場となり、改めて「健康スポーツ都市宣言（平成元年、市議会にて議決）」の制定経緯を学びました。

- スポーツに親しみ、たくましい体と心をつくり、健康で明るい家庭を築きましょう。
- スポーツを通して、職場にも地域にも友情と連携の輪をひろげましょう。
- たのしい生活を送るために、すすんで健康の自主管理につとめましょう。

地区運動会の開会式等で聞きしておりましたが、理解は浅く、恥ずかしながら全国共通の文言であろうと誤解しておりました。これは塩尻市が独自に練り上げた文言なのですね。理念を同じくする宣言が多くの市町村から発信されていますが、独創的かつ特徴的なのが「健康の自主管理」（第3項）への言及です。

コロナ禍の今だからこそ、スポーツ（軽い運動でも十分）を生活の一部として定着させていただきたいのです。健康の自主管理のために、そして楽しい生活を送るために。

令和3年度 前期広丘地区体育協会事業計画 新型コロナ対策で既に中止が決定された大会等があります

No.	大会名等	実施予定日	曜日	開会時間	会場	
1	広丘・吉田・高出地区ナイターソフトボールリーグ戦	5月～8月		20:00	吉田小・広陵中学校庭	
2	広丘・高出中学生春季ソフトテニス大会	5月16日	日	8:30	中央スポーツ公園	
3	広丘・高出地区ソフトバレーボール交流会	5月16日	日	9:00	広丘小体育館	中止
4	春季ゲートボール大会	5月19日	水	8:30	野村グラウンド	中止
5	春の広丘・高出ミニバレー交流会	5月30日	日	8:00	広丘小体育館	
6	広丘・高出地区支部対抗野球大会	6月6日	日	8:00	野村グラウンド	
7	広丘・吉田・高出地区少年野球大会	6月12日	土	8:00	北部公園運動場	
8	広丘地区剣道錬成会	6月13日	日	16:00	広丘小体育館	
9	広丘・吉田・高出地区スポーツ少年団交流会	7月10日	土	8:45	小坂田公園	
10	市民体育祭夏季大会	7月18日	日	8:00	市内各会場	
11	広丘・高出地区支部対抗野球大会（40歳野球）	8月22日	日	8:00	野村グラウンド	
12	広丘地区剣道合同稽古会	8月22日	日	8:00	広丘小体育館	
13	広丘・高出地区支部対抗混合野球大会	9月12日	日	8:00	野村グラウンド	
14	秋季ゲートボール大会	9月22日	水	8:30	野村グラウンド	
15	ダンススポーツ交流会	9月26日	日	17:00	広丘小体育館	

参加者随時募集中！ 広丘地区在住の大勢の皆さんの参加をお待ちしております。

問い合わせ先
広丘公民館
☎ 0263-52-0157

百年前の流行性感冒(四)

新型コロナウイルスはいまだ収まらず、長野県内でも変異ウイルスが確認され、予断を許さない状況下にあります。

5月15日の『信濃毎日新聞』の「斜面」では百年前のスペイン風邪のことでコロナウイルスで亡くなった大相撲の勝武士さんのことが次のように取り上げられています。

1918年10月23日の本紙にこんな記事が載っている。長野商業学校で生徒12人が「力士病」と呼ばれる風邪で欠席し、校医が全生徒の健康診断をした、と。近くの師範学校はすでに臨時休校に入っていた。集団感染を恐れたのだろう。◆同年3月米国で発生したインフルエンザは世界中で大流行した。4月に台湾巡業した大相撲の力士が感染し夏場所は休場が相次ぐ。「スペイン風邪」として歴史に残るこの感染症は日本では当初「力士病」と名付けられ、秋以降に全国で猛威を振るった。◆県内では19年1月末までに62万人が感染して6千人余が死亡。諏訪などで若い製糸工女が集団感染した。100年後のコロナ禍は28歳の力士の命を絶った。巡業の「初っ切り」で人気だった勝武士さんだ。(略)◆新たな感染は減っても連日死者数の報告が積み上がっている。数字の向こうにそれぞれのかげえのない人生を思わずにいられない。「油断は禁物」と戒められてもいる。きのう39県の緊急事態宣言を解除した政府のいささか前のめりな姿勢が気になる。◆スペイン風邪は19年冬から再流行した。本誌は「病状

軽く流行やや緩慢にしてまん延の兆しなし」と当局の見方を伝えた。20年2月に入ると連日数十人の死者が報告される。コロナ禍も再流行に備え、命を守る態勢を強靱にしたい。(略)

今回も百年前はどんな状態だったのか『信濃毎日新聞』の記事を紹介します。

「力士病」と呼ばれたスペイン風邪は13日後の10月26日には新聞紙上では「悪風邪」という言葉に代わります。この日の新聞は「悪風邪縣下にも益々蔓延す」という見出しで、松本、長野、上田、上伊那の流行を次のように伝えています。

▲風邪の神の大荒れ 而かも悪性遊郭迄襲う 松本市に魔の手を揚げた風邪の神は素晴らしいもので、略一病床にあるものが約五六百人という有様である。其内各小学校では二百名からの欠席者を筆頭に、各工場なども沢山に襲われて閉鎖しようとするものさへある。殊に松本横田遊郭では百人ばかりの娼妓に感染してドット枕を並べたので楼主の驚きは一方でなく、店を張って居る娼妓の数十二軒にたった七八人というのである。(略)目下施行の市内衛生の清潔法も一家全滅が出来たのでできなかった事や電話交換局を襲う事やで、松本市内は風邪のために大荒れの光景である。而も風邪の性質が非常に悪性であるらしく、松本市の医師は常の二三倍位の客を扱って居るのである。

▲教習所全滅 出席者僅十名
長野県巡査教習所にては教生のうち近時流行の感冒に犯さる者遂に五十名の多きに達し廿五日は出席せる者

十名にして、併も右十名も健康甚だ危ぶまれるにより教習を中止し一時同所は閉鎖するのやむなきに至れり

▲上田大流行 各学校の恐怖 上田町にも近來流行性感冒に罹るもの多きが、上田中学校生徒中三四十名の休校者あり、寄宿生五十余名の内、七八名は襲われ居れり。又上田女子小学校西分教場生徒間にも大いに流行の兆しあり、尋常二年級は現在半数の休校者を出したり、此の外小縣蚕業学校にても寄宿生徒中に両三名の病者ありしより二十四日校医は全生徒の健康診断を為し警戒し居れり

▲修学旅行中殆んど全滅 帰校後益々蔓延上伊那郡西春近村小学校にては(略)高等科一二年生徒四十六名修学旅行として伊勢大廟に参拝なしたるが、四十六名中四拾名迄悉く猛烈なる流行性感冒に罹り、直に応急手当を為し、帰校したるが其の後二年生(略)は遂に死亡し、同校職員十名中男教員七名罹病し残るは三名の女教員のみとなり、益々蔓延の兆しありより遂に臨時休校を為すことに決し廿四日より七日間休校を為したり(大正7年10月26日付)

昨年紹介した『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』人類とウイルスの第一次世界戦争』を著した速水融さんによると翌27日の新聞では「スペイン風邪」という言葉が使われ、諏訪地方の製糸工場では50人、100人という罹患者を出したこと、29日には長野中学校生徒の死亡が報じられたということです。当初が「力士病」とよばれたインフルエンザは一週間も経たないうちに「悪風邪」と名を変え、「スペイン風邪」となったことがわかります。(太田秀保)

集後記

新年度がはじまり館報広丘の編集委員長を任せられ、最初から何をやっていいのかさえないまま進めています。コロナの中でも館報は広丘地区の方々の交流ができる手段かもしれない。公民館活動をやって感じるのは新たなことに挑戦し楽しくありたいと思っています。

さて、仏教の基本的な考え方の一つに「諸行無常」という考え方があります。今の姿は次の瞬間には変わっているということですが、新型コロナウイルスも数年経てば、必ず変わっています。

将来を見据えていきたいと思えます。

館報は、より多くの方に見ていただくのが使命で、読まれる館報を目指していきたいです。

編集委員長 塚原克浩

世帯数と人口

(令和3年6月1日現在)

区	世帯数	男	女	計
原新田	1,885	2,093	2,001	4,094
堅石	1,017	1,290	1,317	2,607
郷原	715	774	759	1,533
野村	2,612	2,895	2,606	5,501
計	6,229	7,052	6,683	13,735
塩尻市	28,207	33,198	33,268	66,466